

州境そして国境●青木泰子

シャイアンの保護区の隣りの土地を買う砂塵吹きあげる風ともどもに  
買った土地に立ちてぐるりの荒草にこれからという年下の夫  
禁獵区保護区の立て札三月の陽を返しているバウスアリゾナ  
早春の河岸に居住地が決められて人の行き来の陽炎むらさき  
緑濃き岸辺により添う家々の屋根低くして煙は見えず  
カルフォルニアゆ時差一時間のフェニックス角にはここもスター・バックス  
めじるしのコロラドリバーに沿うて飛ぶ春の野鴨を呆と見送る  
簡単なゲイトの脇の州の旗垂れて主張の何ものもなし  
千人に足らない町の公園にヴェトナム戦の慰靈碑があり  
ここまで増水はまれと堤防を見回るレンジャーとしばらく話す  
州境コロラドリバーの橋桁はまるで四股踏む男等五人  
日本では水に流すという譬みつめる彼方の川が膨らむ  
蛇行する流れにたゆたう黄昏は景勝ボスターの主役よ　あなたは  
断崖のましたの渦が陽を呑みて怒りは長く州をこえゆく  
国境をしめす鉄柵遠く見てひるの日射しのめまいに耐える  
鉄柵の続く丘陵のメキシコもこちらと同じポピーの花さかり  
ふり返りつくり笑いのあいさつを監視カメラに残して帰る  
直線の九十五号線がキヤニオンをつらぬくあたりの空が燃えはじむ  
壁のある国境いく多の歳月に囲まれて居る我等の晩年  
残雪の峰々輝くパームスプリングこの地を選んだ初めを思う